

東京都区市町村 タイムライン作成手順書

初版：令和元年 5 月
第二版：令和 3 年 9 月
第三版：令和 4 年 9 月

東京都 総務局 総合防災部

目次

1. はじめに	P.1
1.1 タイムラインとは	P.1
1.2 タイムライン導入のメリット	P.1
1.3 本手順書の使い方	P.2
2. タイムラインの標準的な作成手順	P.4
2.1 対象とする災害の決定	P.4
2.2 タイムライン参加機関・部局の決定	P.4
2.3 災害リスクの把握	P.6
2.4 防災気象情報の確認	P.7
2.5 想定災害シナリオとタイムラインレベルの設定	P.15
2.6 ゼロアワーとリードタイム	P.18
2.7 防災行動項目の抽出	P.19
2.8 防災行動実施のタイミングの設定	P.20
2.9 タイムラインの作成	P.21
2.10 タイムラインの確認（読み合わせ）	P.24
2.11 タイムラインの見直し・改善	P.25
3. 東京都区市町村タイムラインひな形の使い方	P.26
3.1 ひな形のタイムラインレベル	P.26
3.2 タイムライン種別について	P.27
3.3 タイムラインレベル移行の判断基準について	P.28
3.4 ひな形の構成	P.30
3.5 タイムラインレベル早見表	P.31
3.6 入力フォーマットの使い方	P.32

1. はじめに

平成30年7月豪雨では、自治体の発する避難勧告が必ずしも住民の避難につながらず浸水被害等により、多くの住民が犠牲となりました。

このような中で、**都内で大規模な風水害等が発生した際、適切な対応ができるように、区市町村のタイムラインの普及拡大を目的として、「タイムライン作成手順書」及び「東京都区市町村タイムラインひな形」を作成**しました。なお、本手順書の内容は、今後の運用結果や防災情報に係る技術的改善などにより、適宜見直しを行ってまいります。

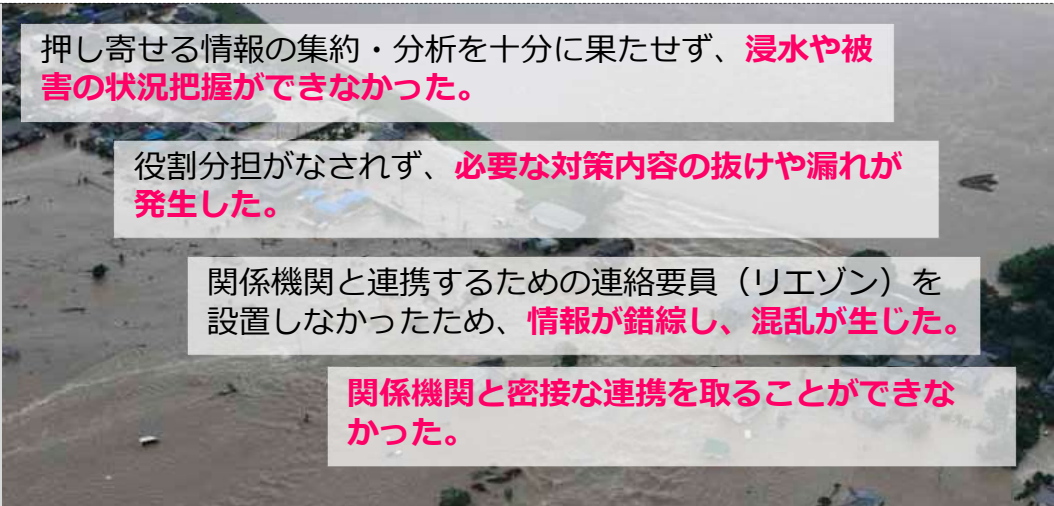
本手順書は、各自治体のタイムラインの策定状況に応じて活用できるように構成されています。タイムラインの新規作成や改善・見直しの際にご活用ください。

1.1 タイムラインとは

タイムラインとは、災害の発生を前提に、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況を予め想定し共有した上で、**「いつ」、「誰が」、「何をするか」**に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画です。防災行動計画とも言います。タイムラインを策定することにより、災害時に連携した対応を行うことができます。

1.2 タイムライン導入のメリット

既往洪水時の各機関の
防災担当者の課題



押し寄せる情報の集約・分析を十分に果たせず、**浸水や被害の状況把握ができなかった。**

役割分担がなされず、**必要な対策内容の抜けや漏れが発生した。**

関係機関と連携するための連絡要員（リエゾン）を設置しなかったため、**情報が錯綜し、混乱が生じた。**

関係機関と密接な連携を取ることができなかった。

出典：国土交通省関東地方整備局
「平成27年9月関東・東北豪雨における課題～鬼怒川決壊における6つの課題～」より

災害発生時に、防災機関の担当者それぞれが**被災シナリオに応じて、いつ何をすべきかについて、具体的なアクションを時系列で起こせる**実効性の高いものが必要

タイムライン
の導入メリット

- 災害対応の抜け、漏れ、**落ちがなくなる。**
- 「先を見越した対応」が可能となり、減災が実現できる。
- 防災関係機関の**「相互の役割分担」が明確になる。**
- 防災機関の対応の**「バラツキ」が改善される。**

2. タイムラインの標準的な作成手順

2.1 対象とする災害の決定

P.4

地域の災害特性を考慮し、作成するタイムラインの対象となる災害を、大規模河川洪水・中小河川洪水・土砂災害・高潮から選択します。

2.2 タイムライン参加機関・部局の決定

P.4

作成するタイムラインの参加機関や機関内部局を決定します。（多機関連携タイムライン又は区市町村タイムライン）

2.3 災害リスクの把握

P.6

タイムラインを検討する災害に対し、想定されているリスクを確認します。

2.4 防災気象情報の確認

P.7

タイムラインの検討にあたり重要となる「防災気象情報」は、各防災行動を実施する際のきっかけ（トリガー）となります。このような「防災気象情報」は気象台から発表される気象予警報、洪水予報、水位到達情報などがあり、種別と発表のタイミングを事前に把握する必要があります。

2.5 想定災害シナリオとタイムラインレベルの設定

P.15

想定する災害を具体的に可視化し、想定災害シナリオの様相を確認します。また、想定災害シナリオに対し、事象や発表情報のタイミング等を考慮し、タイムラインレベルの設定を実施します。

2.6 ゼロアワーとリードタイム

P.18

対象災害の設定とともに、主な災害の発生時点「ゼロアワー」、ゼロアワーから時間を遡り、防災行動を実施するタイミング及び防災行動に必要な時間（リードタイム）を整理します。

2.7 防災行動項目の抽出

P.19

想定災害シナリオに基づき、各防災関係機関の役割（行動項目）を抽出します。

2.8 防災行動実施のタイミングの設定

P.20

抽出した行動項目について、実施するタイミングやきっかけ（トリガー）を確認して整理します。

2.9 タイムラインの作成

P.21

最終的なタイムラインのフォーマットを決定し、タイムラインを作成します。

2.10 タイムラインの確認（読み合わせ）

P.24

タイムラインの内容を参加機関全員で確認し、合意形成を図ります。

2.11 タイムラインの見直し・改善

P.25

訓練や実災害での活用と事後検証により見直し・改善を行いブラッシュアップします。

2. タイムラインの標準的な作成手順

2.1 対象とする災害の決定

タイムラインを作成するにあたって、対象とする災害を設定します。そのため、**地域の災害リスクについて過去の被害状況や公表されているリスク情報（浸水想定区域図や土砂災害警戒区域など）を整理・分析**する必要があります。

本書では、主に河川洪水（大規模河川、中小河川）、土砂災害、高潮災害を対象としたタイムラインの作成手順を示しています。



河川洪水



土砂災害



高潮災害

2.2 タイムライン参加機関・部局の決定

タイムラインに整理する防災行動項目を「誰が」実施するか、つまりは各項目の役割分担に関わる機関や組織、機関内の部局を決定します。

多機関連携タイムラインの場合は、自治体外での防災関係機関を抽出します。また、自治体内の部局ごとに項目と役割分担を細分化する場合は、対象部局を抽出します。

区市町村タイムラインの場合は、自治体内の各部局の役割分担を明確にするのか、統合して表示するかを選定します。

[illegible]

防災関係機関

[illegible]

旭川水害タイムラインの事例

参考 タイムライン作成事例（機関連携）

[illegible]

荒川下流タイムライン（多機関連携タイムライン）

【資料5】 台風に伴う水害・土砂災害対策のタイムライン

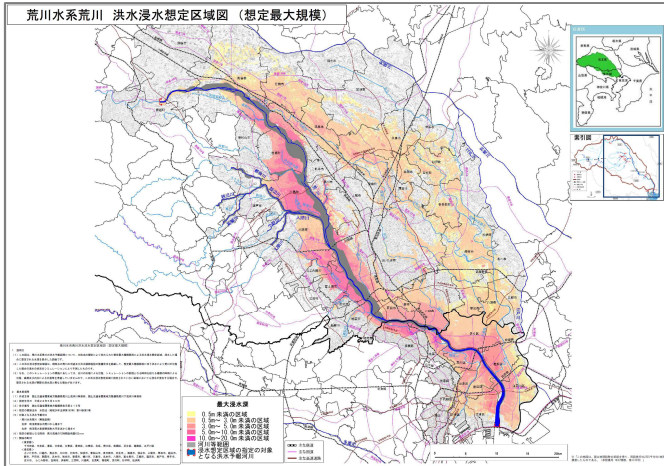
台風の動きと警報等	区の形勢	総務部	企画政策部（広報課）	区民部	土木部	施設管理部	都市計画部	福祉・子ども政策部・生活政策部	避難所の開設・運営
＜台風が発生＞		・気象情報収集			・気象情報収集				
＜上陸の可能性＞	水害対応形勢				（水防形勢）				
大雨注意報		・気象情報収集			・気象情報収集 ・水防資器材等の調達・手配				
大雨警報（浸水害） （水害警報）		・気象情報収集 ・区民等への情報伝達 ・区民等の要請や問合せ対応 ・情報伝達手段の準備 ・庁内の注意喚起 ・防災関係機関との連携	・区民等への情報伝達	・所管施設から情報収集	・気象情報収集 ・水防資器材等の調達・手配 ・河川、道路の巡回監視 ・区民等の要請や問合せ対応	・所管施設から情報収集	・気象情報収集 ・区民等の要請や問合せ対応		
水害の場合は、水害 対応態勢から災害対策 本部へ直に移行 することもある。									
＜接近＞									
大雨警報（土砂災害）	臨時水害対策本部	・気象情報収集（気象庁直通） ・臨時水害対策本部設置 ・臨時水害対策本部職員の招集 ・関係員以外の管理職に報告 ・避難所開設等の動員準備 ・土砂災害のおそれのある区域 の現地確認依頼（区長決定） ・避難所開設の決定（区長決定） ・避難所開設等の動員 ・「高齢者等避難」の判断（区長 決定） ・庁有車による注意喚起 ・防災関係機関との連携	・災害用ホームページへの 切替 ・区民等への情報伝達 ・区民等の問合せ対応 ・報道機関との連絡調整	・所管施設から情報収集 ・水害見舞金支給等動員体制の 検討	・水防資器材等の調達・手配 ・河川、道路の巡回監視 ・災害現場の応急措置 ・区民等の要請や問合せ対応	・所管施設から情報収集	・区民等の要請 や問合せ対応		・避難所への動員準備
	【警戒レベル3】 高齢者等避難		・「高齢者等避難」の伝達					・所管する施設・運営利 用施設へ情報伝達	・指定避難所へ参集 ・避難所の開設 ・避難開始 ・避難所の運営
神田川沿岸危険情報 土砂災害警戒情報	災害対策本部	・気象情報収集（気象庁直通） ・災害対策本部の設置 ・災対本部職員の招集 ・関係員以外の管理職に報告 ・「避難指示」の判断（区長決定） ・防災関係機関との連携	・区民等への情報伝達 ・区民等の問合せ対応 ・「避難指示」の伝達 ・報道機関との連絡調整	・所管施設から情報収集	・水防資器材等の調達・手配 ・河川、道路の巡回監視 ・災害現場の応急措置 ・区民からの要請や問合せ対応	・所管施設から情報収集	・区民からの要請 や問合せ対応		・本部への状況報告 （区民等）避難を開始 し、台風上陸前に避難 完了
	【警戒レベル4】 避難指示								
＜上 陸＞		・被害情報収集 ・緊急安全確保の発令の判断 ・防災関係機関との連携	・区民等への情報伝達 ・区民等の問合せ対応 ・「緊急安全確保」の伝達 ・報道機関との連絡調整	・所管施設から情報収集	・水防資器材等の調達・手配 ・河川、道路の巡回監視 ・災害現場の応急措置 ・区民からの要請や問合せ対応	・所管施設から情報収集	・区民からの要請 や問合せ対応		・避難所の運営 ・本部への状況報告
	【警戒レベル4】 緊急安全確保								
大雨特別警報									
＜退 避＞									
警報等の解除		・気象情報収集（気象庁直通） ・避難指示等解除の判断 ・避難所の閉鎖判断 ・被害状況の集約・報告	・区民等への情報伝達 ・避難指示等解除の伝達 ・報道機関との連絡調整	・被害状況の情報収集 ・水害見舞金支給等の事務準備 ・水害見舞金支給等動員体制の 構築 ・水害見舞金支給に係る調査活動	・災害現場の応急措置の報告 ・被害状況、水防活動の報告	・被害状況の情報収集 ・区有施設、設備の維持 管理	・区民からの要請 や問合せ対応		・避難所の閉鎖 ・本部への状況報告
	態勢の解除								

文京区タイムライン（機関内部局連携タイムライン）

2.3 災害リスクの把握

タイムラインで対象とする災害が決まったら、その災害のリスクを把握します。

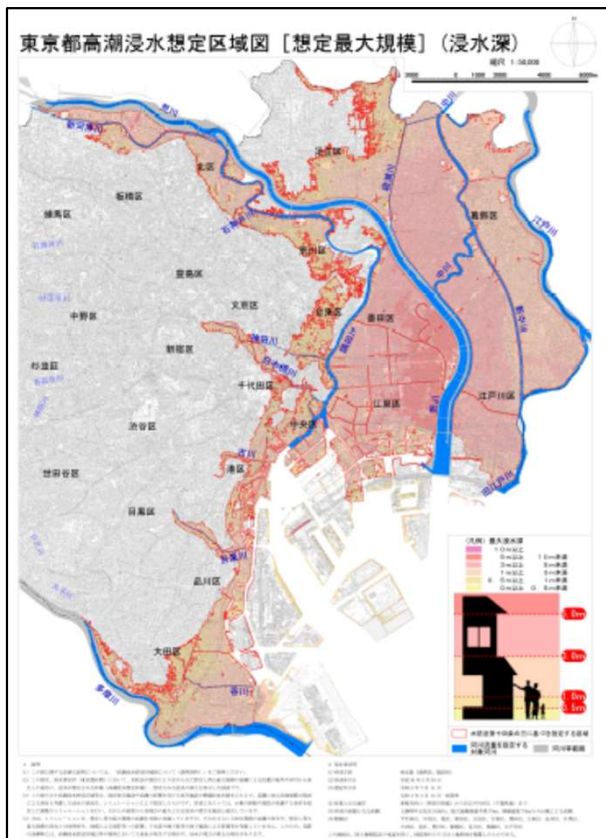
洪水や高潮の場合は対象とする河川やエリアの浸水想定を、土砂災害の場合は土砂災害警戒区域等のリスク情報を確認します。河川の情報については河川管理者（国土交通省、東京都）が、高潮・土砂災害については都道府県が検討を行っているため、浸水想定区域図などの公表情報は、各機関へ問い合わせ確認します。



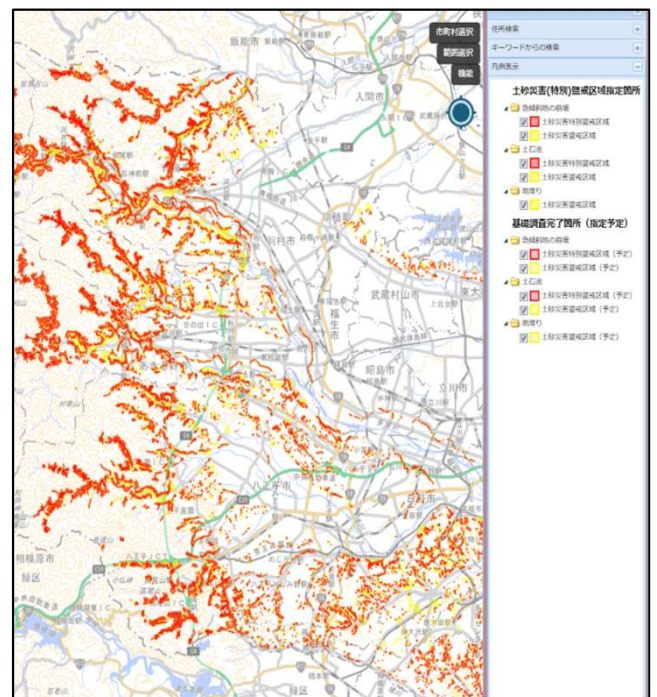
荒川洪水浸水想定区域図（国土交通省）



神田川流域 浸水予想区域図（改定）
（東京都建設局）



高潮浸水想定区域図（東京都）



土砂災害警戒区域（東京都）

2.4 防災気象情報の確認

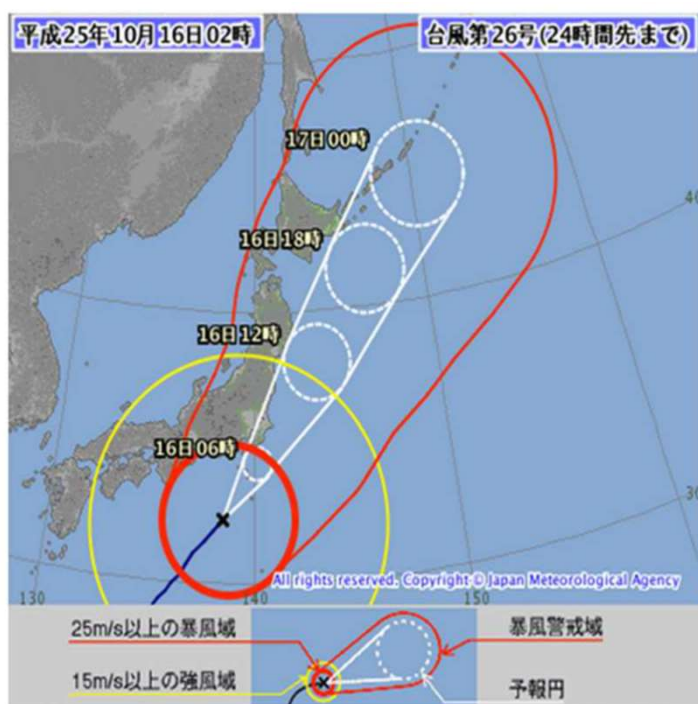
タイムラインを検討する上で重要となるのが「防災気象情報」です。

防災気象情報は、タイムラインで各防災関係機関がそれぞれの行動を実施する際のきっかけ（トリガー）となる非常に重要な情報となります。

このような「防災気象情報」は気象庁などから発表される気象予警報、洪水予報、水位到達情報などがあり、種別と発表のタイミングを把握しておく必要があります。

また、実施する**行動の時間軸を考慮するためには、気象庁が発表する防災気象情報をもつリードタイムを知っておかなければなりません。**

台風情報 気象庁ホームページ



- 台風が発生すると、**台風の位置や強さなどの実況と3日先までの予報**を発表
- 3日目以降も引き続き台風であると予想される時には、**5日先までの台風の進路予想**を発表
- 雨量や最大風速などの予測は、**「台風に関する気象情報」**として発表

予報円：70%の確率で台風の中心が位置すると予想される範囲

暴風域：平均風速25m/s以上の風（非常に強い風）が吹いているか、吹く可能性がある範囲

強風域：平均風速15m/s以上の風（強い風）が吹いているか、吹く可能性がある範囲

令和〇年 台風第〇号に関する東京都気象情報 第〇号

令和〇年〇月〇日〇時〇分 東京管区気象台発表

（見出し）

台風第〇号は、〇日の昼前から夕方にかけて関東地方を縦断するおそれが強くなりました。〇日の朝には暴風域に入る見込みです。

（本文）

大型で強い台風第〇号は、〇日〇時には屋久島の西南西約140キロにあって、1時間におよそ45キロの速さで北東へ進んでいます。中心の気圧は960ヘクトパスカル、中心付近の最大風速は35メートルで中心から東側200キロ以内と西側150キロ以内では風速25メートル以上の暴風となっています。

台風の北上に伴い、台風周辺の発達した雨雲がかかるため、東京都では18日にかけて、非常に強い雨が降る見込みです。土砂災害、浸水害、河川の増水や氾濫に警戒してください。また、18日朝から非常に強い風が吹き、海上では大しけとなるでしょう。暴風や高波に警戒してください。

<雨の予想>

18日0時から19日0時までの24時間降水量は、

多い所 400ミリ

18日に予想される1時間降水量は、

多い所 70ミリ

<風の予想>

18日に予想される最大風速（最大瞬間風速）は、

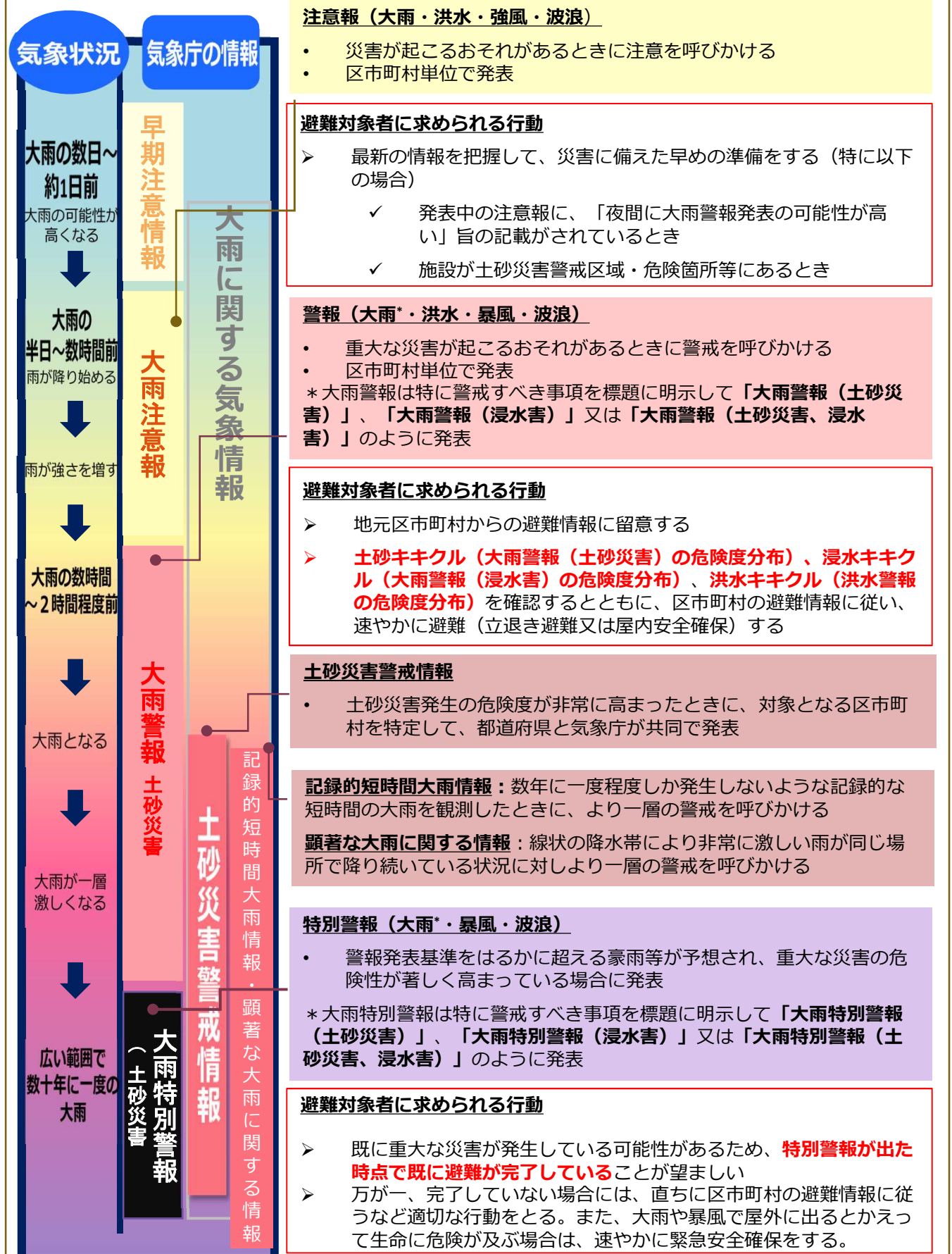
陸上 20メートル（35メートル）

海上 25メートル（35メートル）

台風情報の例

2.4 防災気象情報の確認

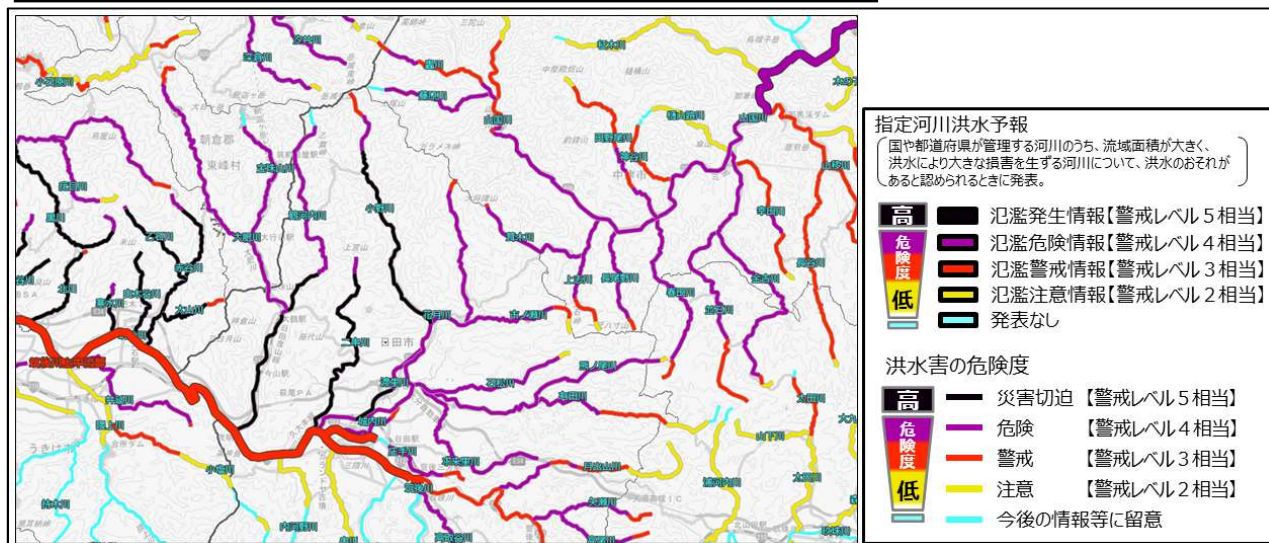
注意報・警報・特別警報（大雨・洪水・強風・暴風・波浪） 気象庁資料より



2.4 防災気象情報の確認

大雨警報（浸水害）・洪水警報の危険度分布 気象庁資料より

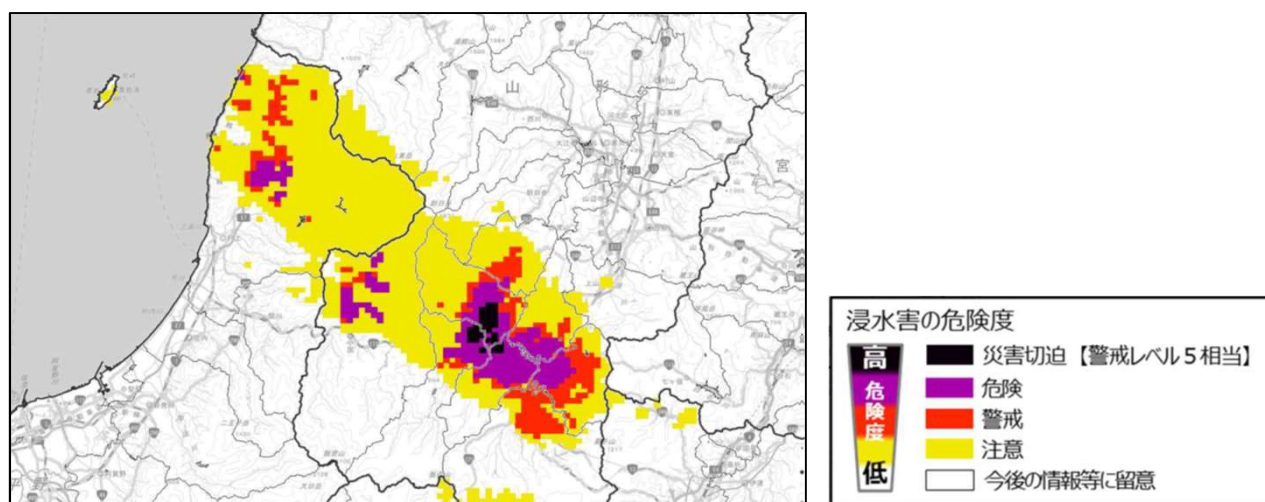
洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）



※ 大河川（洪水予報河川）についても、発表中の指定河川洪水予報に応じて5段階に色分けして、中小河川よりも太く表示しています。

- ◆ 洪水キキクルは（洪水警報の危険度分布）は、指定河川洪水予報の発表対象ではない中小河川（水位周知河川及びその他河川）の**洪水災害発生情報の危険度の高まりを、地図上で概ね1kmごとに5段階に色分けして示す情報。**
- ◆ 常時10分毎に更新しており、洪水警報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているのかを把握することができる。危険度の急上昇にも対処するため、危険度の判定には3時間先までの流域雨量指数の予測値を用いている。

浸水キキクル（大雨警報（浸水害）の危険度分布）

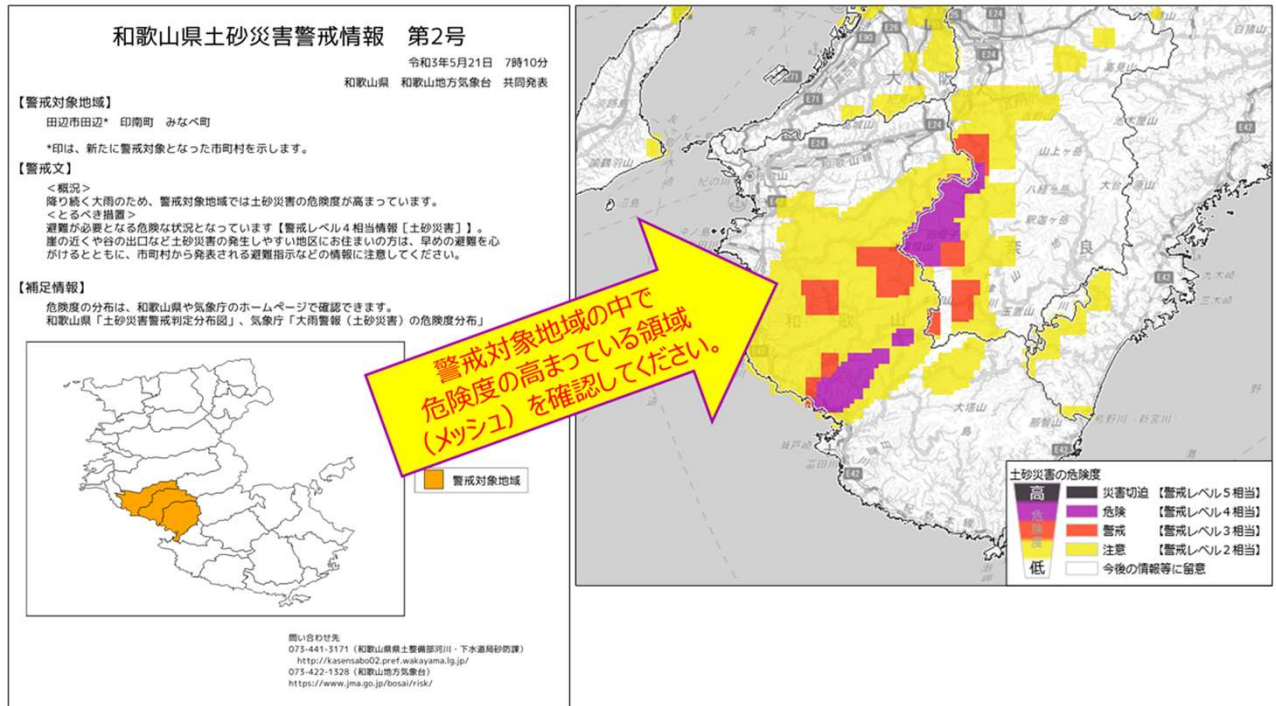


- ◆ 浸水キキクル（大雨警報（浸水害）の危険度分布）は、**短時間強雨による浸水害発生の危険度の高まりを、地図上で1km四方の領域ごとに5段階で色分けして示す情報。**
- ◆ 常時10分毎に更新しており、雨が強まってきたときや大雨警報（浸水害）等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているのかを把握することができる。

2.4 防災気象情報の確認

土砂災害警戒情報・土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）気象庁資料より

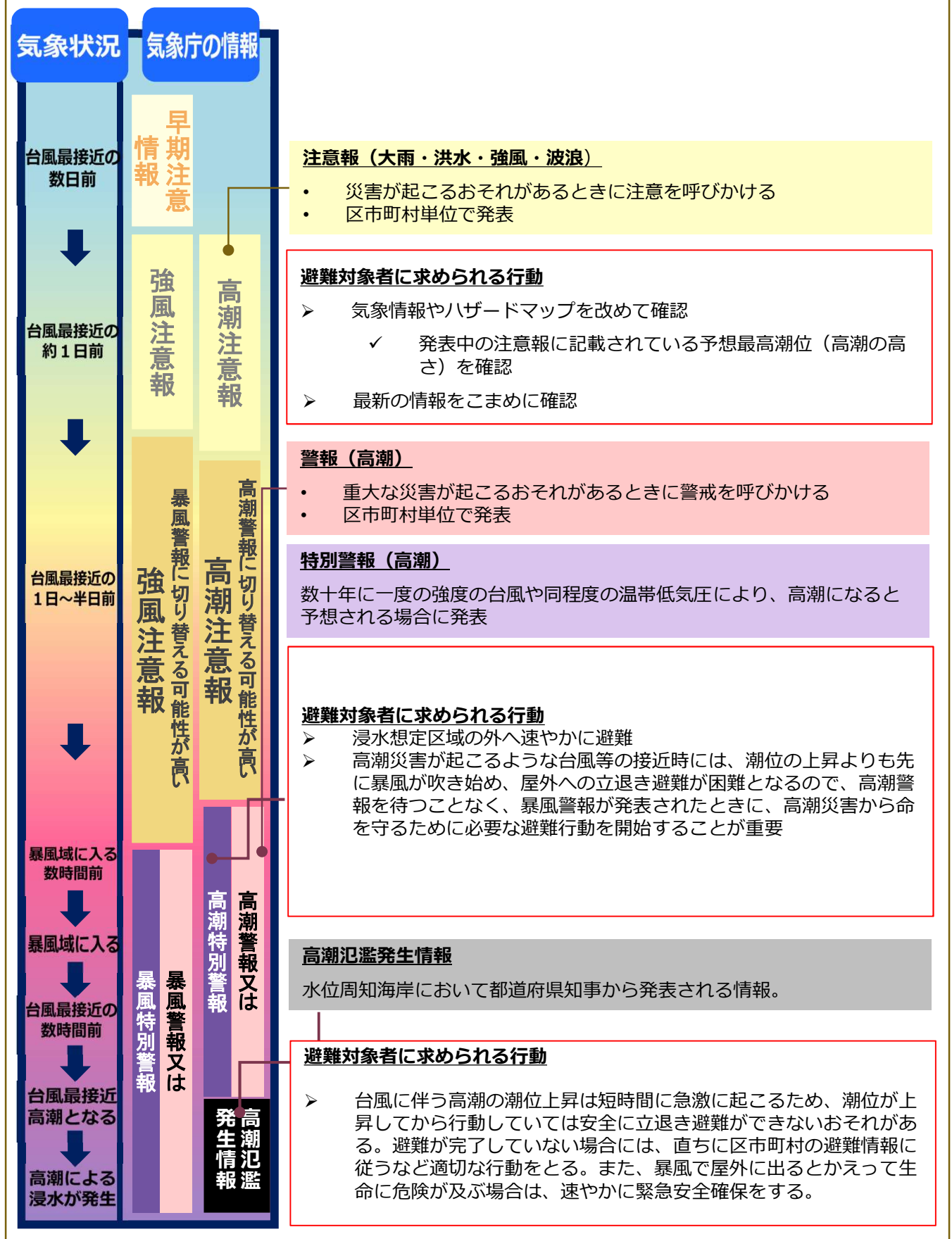
土砂災害警戒情報・土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）



- ◆ 土砂災害警戒情報は、大雨警報（土砂災害）の発表後、**命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況**となったときに、区市町村長の避難指示の発令判断や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる区市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、都道府県と気象庁が共同で発表している。
- ◆ 土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）は、大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを、地図上で1 km四方の領域（メッシュ）ごとに5段階に色分けして示す情報。常時10分毎に更新しており、大雨警報（土砂災害）や土砂災害警戒情報等が発表されたときには、土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）により、どこで危険度が高まっているかを把握することができる。
- ◆ 「災害切迫」（黒）が出現した場合、土砂災害警戒区域等では、命に危険が及ぶような土砂災害が切迫しているか、**すでに発生している可能性が高い状況**である。このため、避難にかかる時間を考慮して、土壤雨量指数等の**2時間先までの予測値**を用いて「危険」（紫）、「警戒」（赤）、「注意」（黄）、「今後の情報等に留意」（無色）の危険度を表示している。

2.4 防災気象情報の確認

注意報・警報・特別警報（高潮） 気象庁資料より

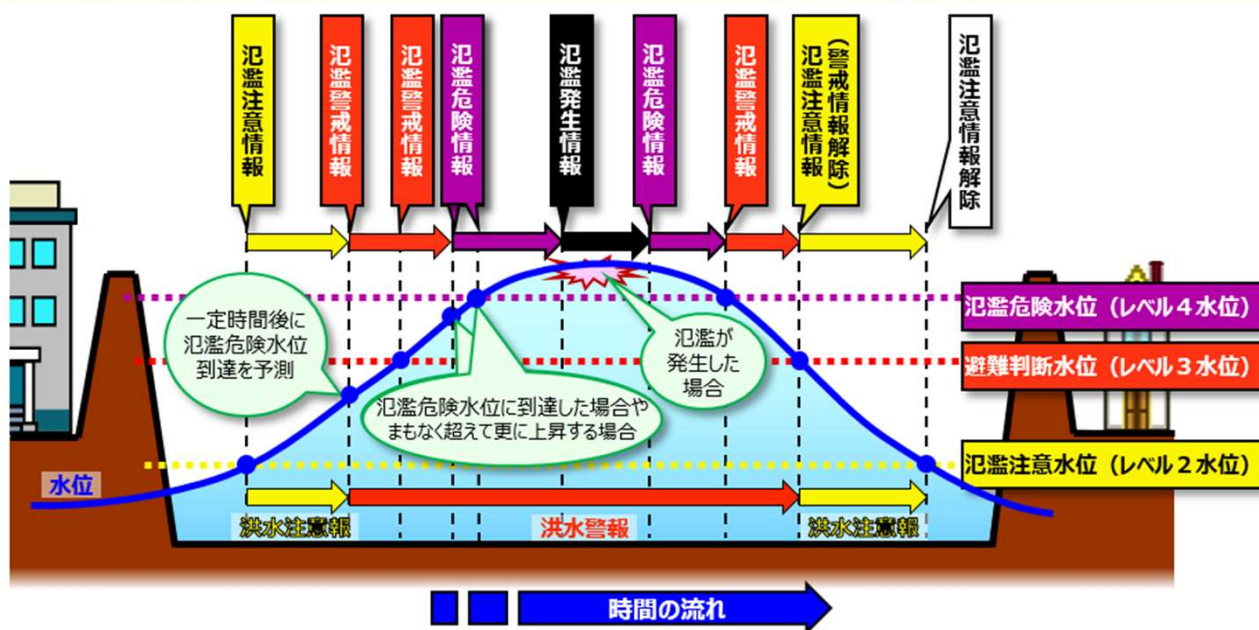


2.4 防災気象情報の確認

洪水予報と水位周知

洪水予報	あらかじめ指定した河川において、洪水が発生するおそれがある場合に、国土交通省または都道府県と気象庁が共同で地域住民の方々へ発表する洪水に関する情報
水位周知	洪水予報指定河川以外の河川のうち、洪水により国民経済上重大な損害を生ずるおそれがあるものとして指定した河川について、特別警戒水位を定め、この水位に達したときに通知・周知する水位または流量の情報

洪水予報の標題（種類）	発表基準	市町村・住民に求める行動の段階
〇〇川氾濫発生情報（洪水警報）	氾濫の発生（氾濫水の予報）	氾濫水への警戒を求める段階【警戒レベル5相当】
〇〇川氾濫危険情報（洪水警報）	急激な水位上昇によりまもなく氾濫危険水位を超え、さらに水位の上昇が見込まれる場合、あるいは氾濫危険水位に到達した場合	いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫発生に対する対応を求める段階【警戒レベル4相当】
〇〇川氾濫警戒情報（洪水警報）	一定時間後に氾濫危険水位に到達が見込まれる場合、あるいは避難判断水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階【警戒レベル3相当】
〇〇川氾濫注意情報（洪水注意報）	氾濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	氾濫の発生に対する注意を求める段階【警戒レベル2相当】



出典：指定河川洪水予報の標題（気象庁）

2.4 防災気象情報の確認

川の防災情報では、地域ごとの雨の量や川の水位の状況など、避難に必要な川の情報が確認できます。

国土交通省 川の防災情報

The screenshot shows the homepage of the国土交通省 川の防災情報 website. It features several search and information options:

- 全国の洪水の危険度（洪水予報等）**: National flood danger (flood forecasts, etc.).
- 情報の探し方を選ぶ**: Choose how to search for information.
 - ① 地図から探す**: Search by map. A red circle highlights this option, with a callout box saying "地図から探す".
 - ② 区市町村から探す**: Search by city/town/village. A red circle highlights this option, with a callout box saying "区市町村から探す".
- 情報の種類から探す**: Search by type of information.
 - 洪水予報等**: Flood forecasts, etc. (Callout box: "洪水予報等発表情報状況を確認").
 - ダム放流通知**: Dam discharge notification.
 - 川の状況調べる**: Check river status.
 - ③ 対象河川を選択**: Select target river. A red circle highlights this option, with a callout box saying "対象河川を選択".
 - 災害時の浸水範囲調べる**: Check inundation range during disasters.

Below the search options, there are several information panels:

- 洪水予報等**: Flood forecasts, etc. (Callout box: "洪水予報等発表情報状況を確認").
- ダム放流通知**: Dam discharge notification.
- 川の状況調べる**: Check river status.
 - 観測所等の地図情報**: Map information of observation points, etc. (Callout box: "水位情報、水位グラフ、河川カメラの確認").
 - 水害リスクライン**: Water damage risk line. (Callout box: "水位情報、水位グラフ、河川カメラの確認").
 - ライブカメラ画像**: Live camera images. (Callout box: "水位情報、水位グラフ、河川カメラの確認").
- 災害時の浸水範囲調べる**: Check inundation range during disasters.

The bottom section shows a detailed view of the river status, including a map of Japan with a red circle highlighting a specific area, and a table of river status information.

洪水予報等発表情報状況を確認

水位情報、水位グラフ、河川カメラの確認

対象河川を選択

2.4 防災気象情報の確認

東京都では、洪水や高潮による被害を軽減するため、河川水位・雨量等、水防に関する情報を迅速・的確に提供することを目的とした水防災総合情報システムを構築しています。

都内に設置した雨量計・水位計から、雨量・河川水位・潮位等の観測データをリアルタイムで自動収集、データ加工して地図上や表形式で表示するほか、河川の映像データを表示しております。

また、気象注意報・警報、土砂災害警戒情報、洪水予報など水防に関係する情報をリアルタイムで表示します。

東京都 水防災総合情報システム

東京都 水防災総合情報システム (建設局河川部)提供

日本語

English

中文

한국어

トップ

このサイトは、東京都にて観測している降雨量や河川水位情報や注意報・警報・特別警報をリアルタイムにご提供しています。

Information

洪水予報

発表内容確認

現在、発表はありません。

水位周知

発表内容確認

現在、発表はありません。

土砂災害情報

発表内容確認

現在、発表はありません。

対象河川では気象庁が降水量を、都が河川水位を予測し、洪水予報（「氾濫危険情報」等）を気象庁と都が共同で発表しています。

洪水予報河川は気象庁が降水量を、都が河川水位を予測していますが、その洪水予報を行う時間的余裕がない河川について、あらかじめ定めた氾濫危険水位に達したときに、都が「氾濫危険情報」を発表します。

カメラマークを押すと、河川の映像データを確認できます。

対象河川（洪水予報・水位周知）



(国管理洪水予報河川：利根川上流部、江戸川、中川、綾瀬川、荒川、入間川、多摩川、浅川)
(国管理水位周知河川：大栗川)

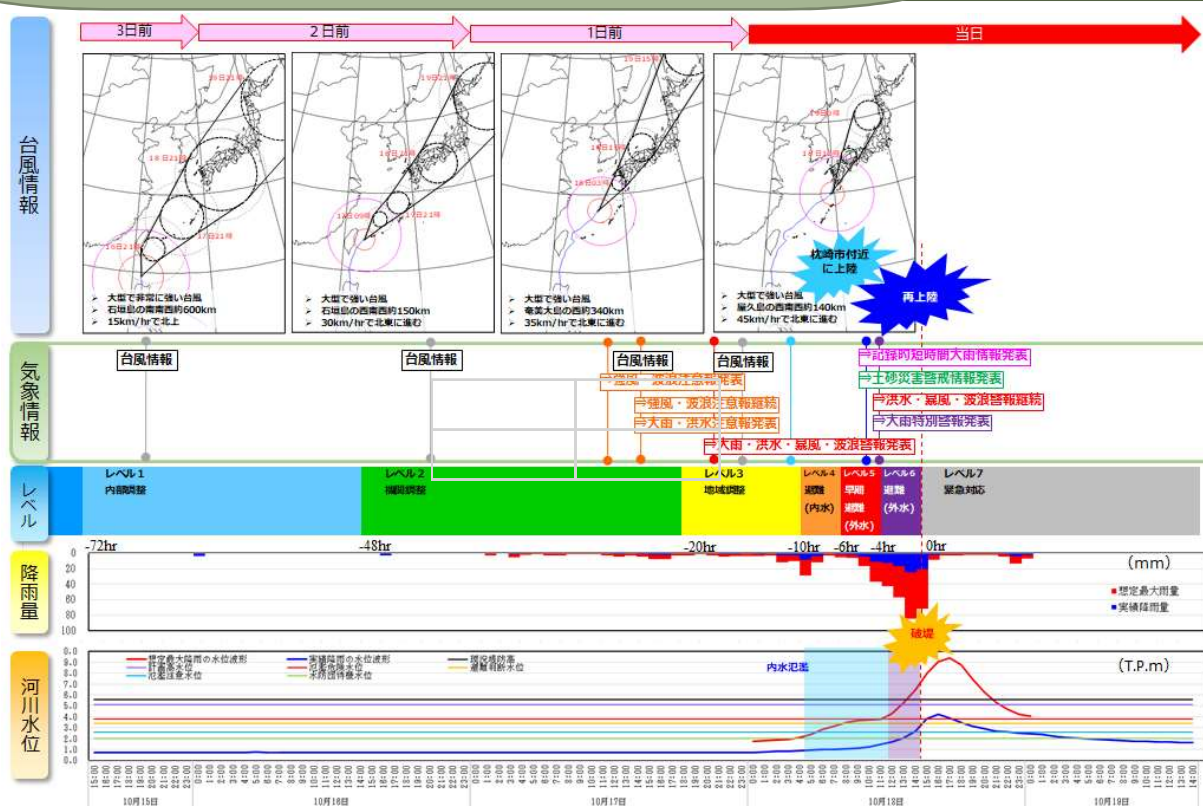
2.5 想定災害シナリオとタイムラインレベルの設定

対象とする災害が決まったら、タイムラインで想定する災害シナリオを以下の手順で作成します。

- ① 想定災害シナリオは、**過去の被害実績やリスク情報から発生要因となる気象条件や降雨量・河川水位の時系列的な変動傾向を分析し、災害特性として網羅的に把握した上で設定**します。
- ② 2.4で確認した**防災気象情報の発表されるタイミング**を想定災害シナリオ上で整理します。
- ③ ②で整理した想定災害シナリオについて**タイムラインレベル（もしくはゼロアワー*からの目安時間の設定）**を設定します。**タイムラインレベルとは、気象や河川の水位状況等と、それに応じて対応すべき目標を段階ごとに設定したものです。**

＜イメージ＞ 想定災害シナリオとタイムラインレベルの設定

*ゼロアワー：次項参照



	TL レベル1	TL レベル2	TL レベル3	TL レベル4	TL レベル5	TL レベル6	TL レベル7
目標	内部調整	機関調整	地域調整	避難 (内水)	早期避難 (外水)	避難 (外水)	緊急対応
気象・河川水位情報	3日後に台風が影響するおそれ 早期注意情報 (大雨)	2日後に台風が影響するおそれ 早期注意情報 (大雨)	大雨警報（浸水外）の発表	氾濫注意情報の発表・周知	避難判断水位の超過見込み 避難判断水位到達による氾濫警戒情報の発表・周知	氾濫危険水位の超過の見込み 氾濫危険水位到達による氾濫危険情報の発表・周知	氾濫発生情報の発表 決壊の通報
現象・社会への影響			内水氾濫発生の見込み	内水氾濫の発生 水防団待機水位の超過 氾濫注意水位の超過	避難判断水位の超過	氾濫危険水位の超過	氾濫開始相当水位の超過 堤防決壊による崖錐氾濫の発生

表 警戒レベルと警戒レベル相当情報の一覧表

タイムラインレベルの設定を行う際には、タイムライン上のレベルと警戒レベルが混同しないように、予め面レベルの対比を整理しておくことが望ましいです。東京都区市町村タイムラインひな形では、ガイドラインの警戒レベルにあわせてタイムラインレベルを5段階で設定しています。警戒レベル・タイムラインレベルと気象予報との対比は下表及び次頁のとおりです。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報 (避難情報等)
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保 (必ず実施されるものではない)
4	災害のおそれが高い	危険な場所から 全員避難	避難指示 (従来の避難勧告の タイミングで発令)
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難※	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認する	洪水、大雨、 高潮注意情報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを 高める	早期注意情報

＜警戒レベル4までに必ず避難！＞

市町村は、警戒レベル相当情報の他、暴風や日没の時刻、堤防や橋門等の施設に関する情報なども参考に、総合的に避難指示等の発令を判断する

※高齢者等以外の人も、必要に応じ、普段の行動を見合わせたり自主的に避難

警戒レベル相当情報	住民が自ら行動をとる際の判断に参考となる防災気象情報			土砂災害に関する情報 (下段：土砂災害の危険度分布)	高潮に 関する情報
	水位情報が ある場合 (下段：国管理河川の 洪水の危険度分布※1)	洪水等に関する情報 水位情報がない場合 (下段：洪水警報の 危険度分布※2)	内水氾濫に 関する情報		
5 相当	氾濫発生情報 (危険度分布：黒) (氾濫している可能性)	大雨特別警報 (浸水害)※2		大雨特別警報 (土砂災害)	高潮特別警報※3
4 相当	氾濫危険情報 (危険度分布：紫) (氾濫危険水位超過相臨)	危険度分布：うす紫 (非潮：危険※4)	内水氾濫 危険情報 (水田地下水道 において影響が ある場合)	土砂災害警戒情報 危険度分布：うす紫 (非潮：危険※4)	高潮特別警報 高潮警戒情報※5
3 相当	氾濫警戒情報 (危険度分布：赤) (避難指示水位超過相臨)	洪水警戒 危険度分布：赤 (警戒)		大雨警報(土砂災害) 危険度分布：赤 (警戒)	高潮警戒情報に切り替 える可能性に言及 する高潮注意情報
2 相当	氾濫注意情報 (危険度分布：黄) (氾濫注意水位超過)	危険度分布：黄 (注意)		危険度分布：黄 (注意)	
1 相当					

上段太字：危険性が高まるなど、特定の条件となった際に発表される情報(市町村に対し関係機関からブッシュ型で提供される情報)
下段細字：常時、地図上での色表示などにより状況が提供されている情報(市町村が自ら確認する必要がある情報)

※1) HP上に公表している国管理河川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)では、観測水位等から詳細(左右岸200m毎)の現況水位を推定し、その地点の堤防等の高さと比較することで警戒レベル3～5相当の危険度を表示。
※2) 水位情報がないような中小河川における氾濫は、外水氾濫、内水氾濫、内水氾濫のいずれによるものかの区別がつかない場合が多いため、これらをもとめて大雨特別警報(浸水害)の対象としている。
※3) 水位周知海岸において都道府県知事から発表される情報。台風に伴う高潮の潮位上昇は短時間に急激に起こるため、潮位が上昇してから行動しては安全に立退き避難ができないおそれがある。
※4) 大雨警報(土砂災害)・洪水警報の危険度分布については、今後技術的な改善を進め、警戒レベル5に相当する情報の新設を行う。それまでの間、危険度分布の「極めて危険(濃い紫)」を、大雨特別警報が発表された際の警戒レベル5の発令対象区域の絞り込みに活用する。
※5) 高潮警戒情報は、高潮により沿岸に危険が及ぶおそれがあると予想される場合に高潮警戒を高潮警戒レベル4相当情報に位置付けている。
風や同程度の温帯低気圧により高潮になると予想される場合に高潮警戒を高潮警戒レベル4相当情報に位置付けている。
注) 本資料では、気象庁が提供する大雨警戒(土砂災害)の危険度分布と都道府県が提供する「土砂災害危険度情報」をまとめて、「土砂災害の危険度分布」と呼ぶ。

参考 東京都区市町村タイムラインひな形

本早見表は避難情報のガイドラインを基に気象予警報等をタイムラインレベル（警戒レベル）に設定したものです。

東京都区市町村タイムラインひな形では、区市町村ごとにタイムラインレベルをアレンジすることが可能なフォーマットになっています。

表 タイムラインレベル早見表

防災情報			大規模河川洪水 中小河川洪水	土砂災害	高潮災害
気象予警報	大雨	大雨注意報		レベル2	
		大雨警報(浸水害)			
		大雨警報(土砂災害)		レベル3	
		大雨特別警報(浸水害)	レベル5		
		大雨特別警報(土砂災害)		レベル5	
	洪水	洪水注意報	レベル2		
		洪水警報	レベル3		
	高潮	高潮注意報			レベル2 注1
		高潮警報			レベル4
		高潮特別警報			(レベル4)注2
指定河川洪水予報 (水位周知)	氾濫注意情報	レベル2			
	氾濫警戒情報	レベル3			
	氾濫危険情報	レベル4			
	氾濫発生情報	レベル5			
水位到達情報	氾濫注意水位到達	レベル2			
	避難判断水位到達	レベル3			
	氾濫危険水位到達	レベル4			
	氾濫開始相当水位到達	レベル5			
土砂災害警戒情報		土砂災害警戒情報		レベル4	
土砂災害 警戒判定メッシュ情報	注意		レベル2		
	警戒		レベル3		
	非常に危険		レベル4		
	極めて危険		(レベル5)		
洪水警報の危険度分布	注意	レベル2			
	警戒	レベル3			
	非常に危険	レベル4			
	極めて危険	(レベル5)			

注1:高潮警報に切り替える可能性に言及する高潮注意報が発表された場合

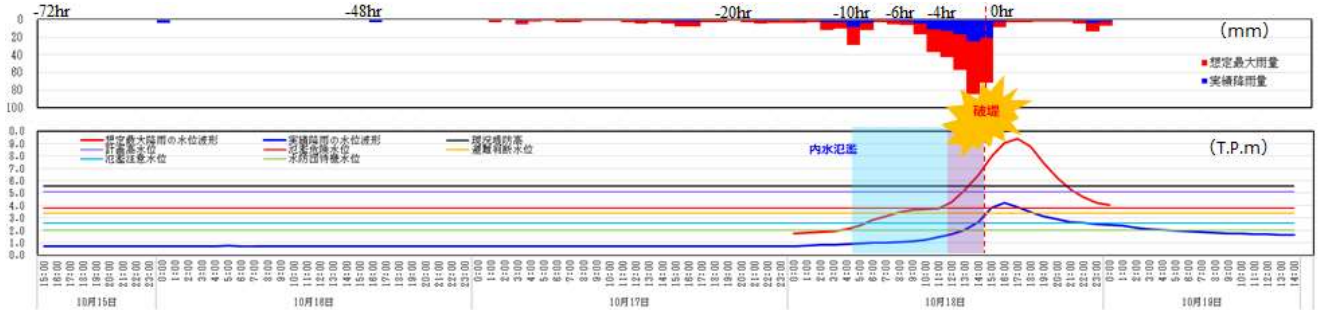
なお、暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難指示(警戒レベル4)に相当する。

注2:予想される現象が特に異常であるため、重大な高潮の発生するおそれが著しく大きい場合(警戒レベル4相当情報【高潮】)

注3:氾濫開始相当水位とはある河川の一連の区域で最も越水・溢水の可能性が高いと考えられる箇所において堤防天端高(又は背後地番高)など氾濫が開始する各箇所の水位を、その箇所を受け持つ水位観測所において換算した水位である。

2.6 ゼロアワーとリードタイム

タイムラインの作成においては、対象災害の設定とともに、**主な災害の発生時点を定め、この時刻を「ゼロアワー」とします。**また、ゼロアワーから時間を遡り、**個々の防災行動を実施するタイミングと防災行動に必要な時間（リードタイム）、並びにその事態の進行状況を整理**します。



参考 タイムライン作成事例（想定災害シナリオの設定）

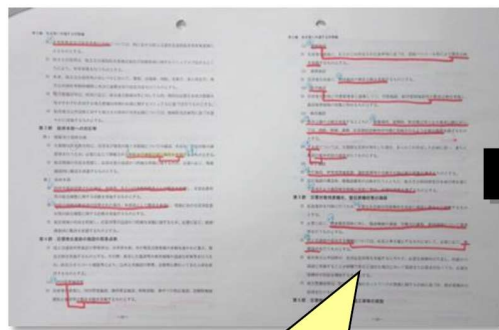


館林市タイムライン（機関内統合タイムライン、ゼロアワーからの目安時間）

2.7 防災行動項目の抽出

作成した想定災害シナリオに基づき、各防災関係機関の役割（行動項目）を抽出します。**既存の防災計画等に記載されている災害時の対応を抽出することを基本**とします。加えて、これまでの災害対応事例等を参考に、必要な防災行動を追加するとともに、**課題解決のために「何をすべきか」という視点で、改めて実施すべき防災行動を検討し、追加**することも重要です。

防災計画等からの防災行動の抽出方法（例）



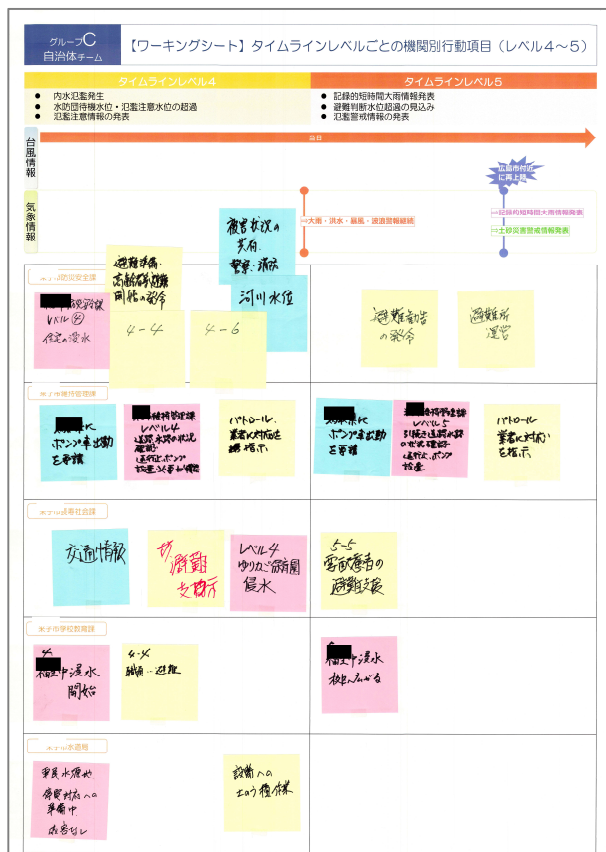
既定の防災計画等から防災行動の部分（赤線）を抽出

防災業務計画からの抜粋				タイムラインへの記載内容
第5編 風 水 害 編				
目 次		記 載 内 容		
第2章 災害応急 対策	第1節 風水害対 策の推進	第2 災害未然 防止活動	・気象官署、発電所その他の関係機関と緊密に連携し、相互の情報を交換するとともに、出水の状況を把握するものとする。	⇒ ○気象官署、発電所その他の関係機関との情報交換による出水状況の把握
第2章 災害応急 対策	第2節 災害発生 直後の情 報の収集 ・連絡 及び通信 の確保	-	○風水害が発生した場合、風水害の規模や被害の程度に応じ、被害情報を迅速、広域的に収集・連絡するものとする。この場合、概括的な情報も含め多くの情報を効果的な通信手段・機材を用いて伝達し、被害規模の早期把握を行うものとする。	⇒ ○風水害が発生した場合における、被害情報の迅速、広域的な収集・連絡
第2章 災害応急 対策	第2節 災害発生 直後の情 報の収集 ・連絡 及び通信 等の確保	第1 災害情報 の収集・ 連絡 (1) 災害情報 等の把握 ・連絡	○大規模な風水害が発生した場合、河川情報システムの情報、テレビ、ラジオ等の一般情報等により、風水害の規模、範囲等について確認するものとする。地方支分部局は、災害対策本部の設置を必要とする規模の風水害が発生した場合、直ちに非常本部等に連絡するものとする。	⇒ ○大規模な風水害が発生した場合における、風水害の規模、範囲等の確認、及び地方支分部局からの連絡の確認
第2章 災害応急 対策	第4節 政府本部 への対応 等	第1 災害対策 関係省庁 連絡会議	○大規模な風水害発生時に、災害及び被害の第1次情報についての確認、共有化、応急対策の調整等を行うため、必要に応じて開催される災害対策関係省庁連絡会議に職員を出席させるものとする。	⇒ ○災害対策関係省庁連絡会議への出席

既存の防災計画等から抽出した災害時の防災行動とタイムラインへの記載内容を整理

出典：国土交通省 タイムライン（防災行動計画）策定・活用指針（初版）

抽出した項目は、想定災害シナリオにおけるタイムラインレベルやゼロアワーからの目安時間ごとに整理していきます。他機関、他部局との連携を考慮し、話し合いながら進めることが望ましいです。



防災行動項目抽出ワーキングの事例

出典：日野川タイムライン検討会 第1回 ニュースター（国土交通省中国地方整備局日野川河川事務所） 19

2.8 防災行動実施のタイミングの設定

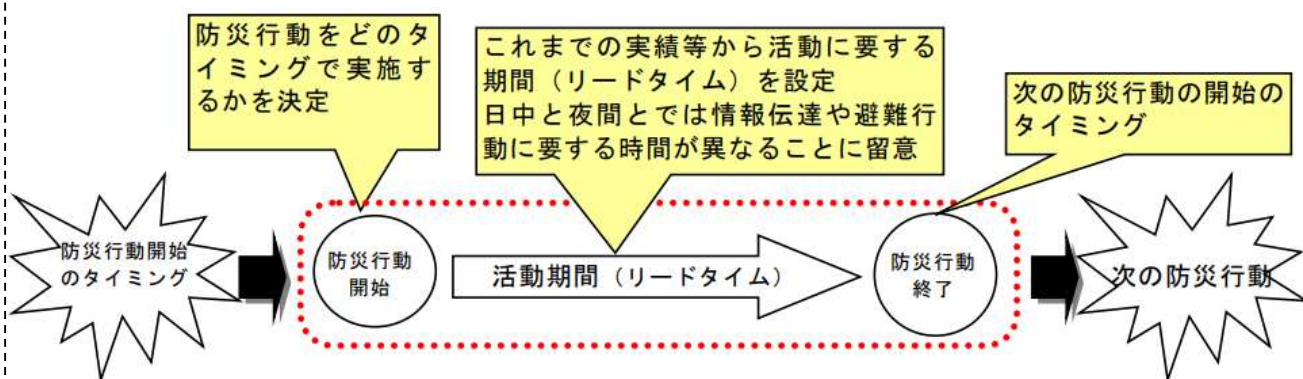
避難情報の発令など、住民の生命を左右するような防災行動を実施する場合、**「何をするか」だけでなく、「いつするか」が非常に重要**です。

そのため、各防災関係機関の役割（行動項目）を抽出した後は、**防災行動を開始するきっかけ（トリガー）を併せて抽出**します。

その際は、リードタイムを踏まえて決定します。**リードタイムを検討した結果、実施すべきタイミングまでに完了できない防災行動があった場合には、防災行動を開始するきっかけ（トリガー）を改めて検討**します。

防災行動ときっかけ（トリガー）の抽出方法（例）

防災行動に関する具体的内容	開始するきっかけ
避難指示	氾濫危険情報発表
〇〇支所の担当者に市内の被災状況を電話で確認	台風が上陸
．．．．	
．．．．	



防災行動の実施時期のイメージ

出典：国土交通省 タイムライン（防災行動計画）策定・活用指針（初版）

2.9 タイムラインの作成

防災関係機関や機関内部局が多数に及ぶほど、また、防災行動が多岐にわたるほど、「誰が」「何を」の項目が多数に及ぶことになります。

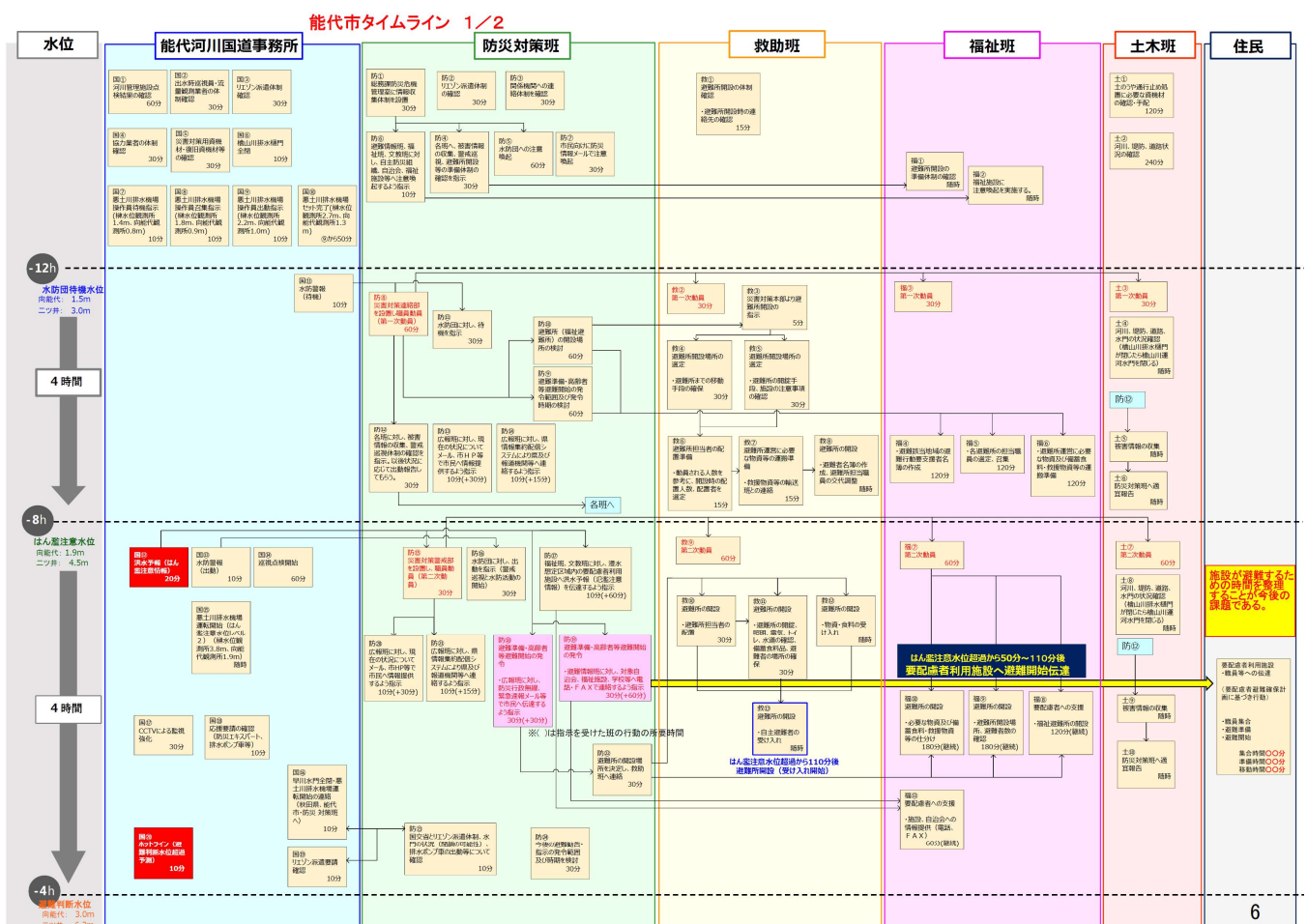
例えば、防災関係機関の連携を示す場合には、各防災関係機関の情報発信・受信や行動の流れを示した「**フロー型**」のタイムラインが有用です。一方で、漏れなく防災行動を実施するためのリストとして使用する場合には、各防災関係機関の詳細な行動を示し、役割分担を明確化した「**チェックリスト型**」のタイムラインが有用です。その他、タイムラインの全参加機関における行動、役割分担を俯瞰的に全体を把握できる「**全体俯瞰型**」のタイムラインがあります。全体俯瞰型については、チェックリスト型と併せて作成されている場合もあります。

災害時の実用的なタイムラインとするために、使用目的に応じた整理が必要となります。

本書の作成にあたって、東京都区市町村を含む全国の自治体で作成・公開されているタイムラインの事例を収集しました。その中から、「フロー型」、「チェックリスト型」及び「全体俯瞰型」のタイムラインを事例としてあげています。

これまでに整理した想定災害シナリオや防災行動項目ときっかけ（トリガー）を、選定したタイムライン形式を使用して作成します。

参考 タイムライン作成事例（タイムライン形式①）



参考 タイムライン作成事例（タイムライン形式②）

[illegible]

荒川下流タイムライン（チェックリスト型）

[illegible]

参考 東京都区市町村タイムラインひな形

東京都の区市町村タイムラインひな形では、各地域の災害特性に対応できる「全体俯瞰型」タイムラインが作成できます。ぜひご活用ください。

地区別 区分	地区 名称	市町村 名称	市町村 住所	災害発生時の対応										災害発生後の対応										備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
				市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所		市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所	市町村 住所

東京都の区市町村タイムラインひな形（全体俯瞰型）

2.10 タイムラインの確認（読み合わせ）

作成したタイムラインを関係機関・部局全体で確認し、合意形成を図った上で出水期に運用することが重要となります。関係機関・部局全体が集まる場において、タイムラインの読み合わせを行い、行動項目や役割分担の確認を行います。

その際は、**会場を円卓形式とすることが効果的**であると考えられています。円卓形式で確認するメリットとしては、以下の点が挙げられます。

- 行動項目の意味や解釈について、関係機関全体で確認することができる。
- 関係機関がどのような役割を持っているか、関係機関全体で把握することができる。
- 「顔の見える関係」を構築し、完成に向けた一体感を高めることができる。



円卓形式による全体読み上げのイメージ

出典：日野川水系大規模氾濫時のタイムライン検討会 概要

2.11 タイムラインの見直し・改善

完成したタイムラインを実災害で活用可能なものとするために、図上訓練を実施することでタイムラインを検証し、見直し・改善を継続的に行うことがとても大切です。

具体的には、進行役（コントローラー）と参加機関（プレイヤー）に別れ、進行役（コントローラー）が付与する状況（気象や水位、防災情報等）に合わせて、参加機関（プレイヤー）がそのとき実施すべき行動項目を確認します。



訓練のイメージ（気象台による台風説明会）

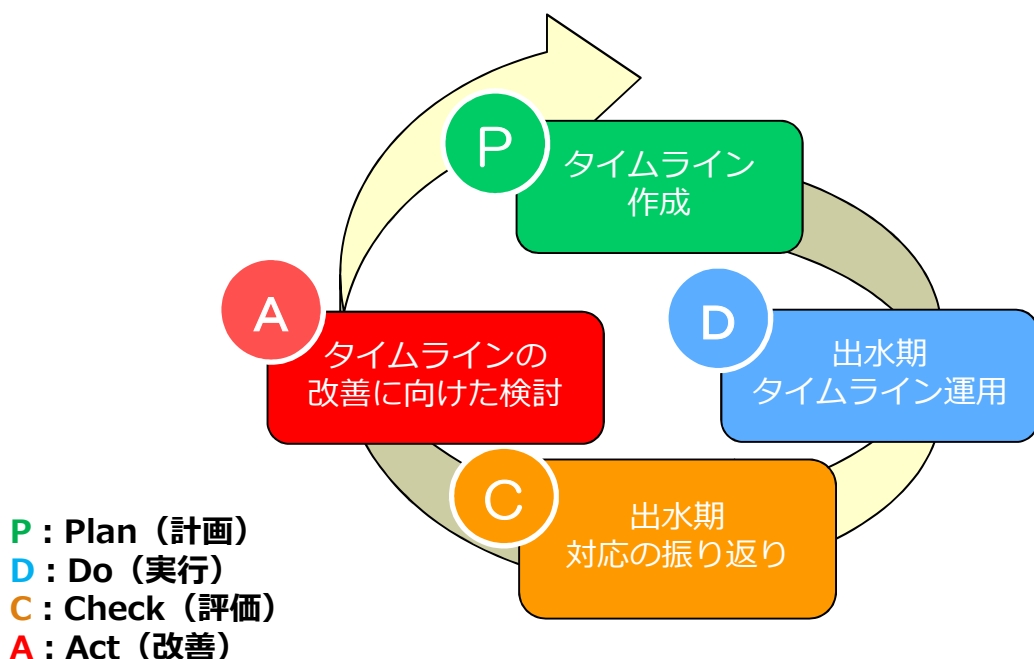


訓練のイメージ（避難指示の発令）

実災害時には、タイムラインを既存の防災計画等と併せて活用します。

タイムラインは想定した災害の外力や被害状況等に基づくものであり、タイムラインどおりに進行するとは限らないことに留意します。

事後検証としては、使用したタイムラインや防災行動のクロノロジー（実際に実施した項目を時系列に並べたもの）の比較、ふりかえり（検証）を行い、課題点を抽出した上で既存のタイムラインにフィードバックすることが重要です。



3. 東京都区市町村タイムラインひな形の使い方

東京都の区市町村におけるタイムライン作成支援を目的として、タイムラインひな形を作成しました。

ひな形作成にあたっては、東京都区市町村及び他道府県自治体におけるタイムラインの作成事例を収集整理・分析し、以下のような特性を持つひな形としました。

① 作成しやすさ

- 入力フォーマットを作成し、必要な情報（行動項目や避難情報の判断基準）を入力することでタイムラインが完成するように構成されている。

② 行動項目リストの作成

- 先行事例から主たる行動項目リストを作成。入力フォーマットで選択することでタイムラインへ反映される。

③ 様々な災害への対応

- 大規模洪水、中小河川洪水、高潮、土砂災害に対応。

④ レベル移行の判断基準

- 各種PUSH型の情報をトリガーとした行動だけでなく、自ら情報監視し（例えば予測水位や気象情報）、タイムラインで想定するレベルのどの段階にあるかを意識付けする。

⑤ 5段階のタイムラインレベル

- 内閣府から今後の避難の在り方として報告されている“住民主体の避難行動等を支援する防災情報の提供”の警戒レベルを踏襲。

3.1 ひな形のタイムラインレベル

本ひな形におけるタイムラインレベルは、内閣府の「避難情報に関するガイドライン」（令和3年5月改定、令和4年9月更新）に合わせて、警戒レベルや避難情報の発令のタイミングを記載しております。

警戒レベルと警戒レベル相当情報の一覧表については、16及び17ページを参照。

3.2 タイムライン種別について

タイムラインのひな形は、災害種別4種類（大規模河川の洪水、中小河川の洪水、土砂災害、高潮）でフォーマットを作成しています。

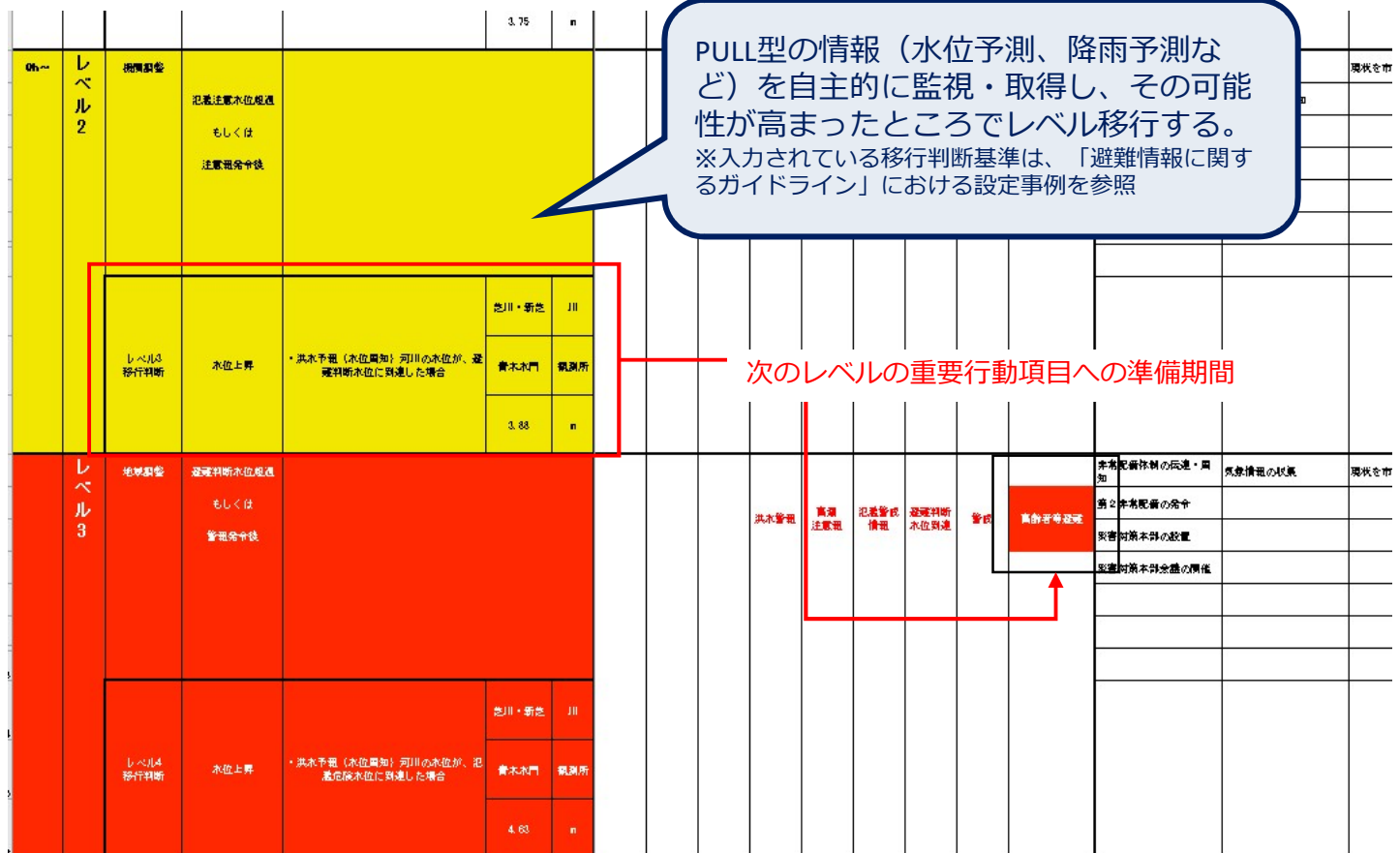
基準が明確でない場合や、見直しを検討している自治体を対象とした**参考資料として、避難情報発令基準を気象庁オープンデータ等より作成したものをフォーマットに添付**しております。

災害	発表情報と指標		備考	①大規模河川		②大河川（丘陵）		③大河川（平地）	
				基準値	避難指示等	基準値	避難指示等	基準値	避難指示等
土砂	大雨注意報	表面雨量指数		12		15		14	
		土壌雨量指数		118	高齢者等避難	131	高齢者等避難	128	高齢者等避難
		3時間雨量	(mm)	-		-		-	
		1時間雨量	(mm)	-		-		-	
	大雨警報	表面雨量指数	浸水害	21		24		26	
		土壌雨量指数	土砂災害	167	高齢者等避難	171	高齢者等避難	170	高齢者等避難
		3時間雨量	(mm)	-	避難指示	-	避難指示	-	避難指示
		1時間雨量	(mm)	-		-		-	
	大雨特別警報	土壌雨量指数		275		268		281	
		48時間雨量	(mm)	515	避難指示	447	避難指示	395	避難指示
		3時間雨量	(mm)	143		168		156	
		1時間雨量	(mm)	100		100		100	
	記録的短時間大雨情報								
	土砂災害警戒情報		(mm)	-	避難指示	-	避難指示	-	避難指示
	土砂災害警戒メッシュ情報			-		-		-	
事前調査結果		大雨警報＋土砂災害警戒判定メッシュ情報		-	高齢者等避難	-	高齢者等避難	-	高齢者等避難
		降雨予測（避難経路等の規制基準値到達）		-	高齢者等避難	-	高齢者等避難	-	高齢者等避難
		大雨注意報＋警報級の可能性（夜間～翌日早朝）		-	高齢者等避難	-	高齢者等避難	-	高齢者等避難
		強い降雨を伴う台風の接近（夜間～明け方）		-	高齢者等避難	-	高齢者等避難	-	高齢者等避難
		その他		-		-		-	
		土砂災害警戒情報		-	避難指示	-	避難指示	-	避難指示
		大雨警報（土砂災害）＋降雨予測		-	避難指示	-	避難指示	-	避難指示
		大雨警報（土砂災害）＋記録的短時間大雨情報		-	避難指示	-	避難指示	-	避難指示
		土砂災害の前兆現象		-	避難指示	-	避難指示	-	避難指示
		その他		-		-		-	
		洪水予報河川	氾濫危険水位到達	-		-		-	
			基準水位＋水位予測	-		-		-	
			基準水位＋降雨予測	-		-		-	
			異常発見時	-		-		-	
			その他	-		-		-	

災害	発表情報と指標		備考	④大河川上流	
				基準値	避難指示等
土砂	大雨注意報	表面雨量指数		12	
		土壌雨量指数		118	高齢者等避難
		3時間雨量	(mm)	-	
		1時間雨量	(mm)	-	
	大雨警報	表面雨量指数	浸水害	21	
		土壌雨量指数	土砂災害	167	高齢者等避難
		3時間雨量	(mm)	-	避難指示
		1時間雨量	(mm)	-	
	大雨特別警報	土壌雨量指数		275	
		48時間雨量	(mm)	515	避難指示
		3時間雨量	(mm)	143	
		1時間雨量	(mm)	100	
	記録的短時間大雨情報				
	土砂災害警戒情報		(mm)	-	避難指示
	土砂災害警戒メッシュ情報			-	
事前調査結果		大雨警報＋土砂災害警戒判定メッシュ情報		-	高齢者等避難
		降雨予測（避難経路等の規制基準値到達）		-	高齢者等避難
		大雨注意報＋警報級の可能性（夜間～翌日早朝）		-	高齢者等避難
		強い降雨を伴う台風の接近（夜間～明け方）		-	高齢者等避難
		その他		-	
		土砂災害警戒情報		-	避難指示
		大雨警報（土砂災害）＋降雨予測		-	避難指示
		大雨警報（土砂災害）＋記録的短時間大雨情報		-	避難指示
		土砂災害の前兆現象		-	避難指示
		その他		-	
	洪水予報河川	氾濫危険水位到達		-	
		基準水位＋水位予測		-	
		基準水位＋降雨予測		-	
		異常発見時		-	
		その他		-	
	水位周知河川	氾濫危険水位到達		-	
		基準水位＋降雨予測		-	
		異常発見時		-	
		その他		-	

3.3 タイムラインレベル移行の判断基準について

本ひな形では、前述の通りタイムラインレベル（5段階）を設定しており、各レベルにおいて、次レベルへの移行判断となる基準を表示しています。レベル移行の判断基準を設定することにより、各レベルでの重要項目への体制構築等の準備期間を確保することができます。ひな形では参考として基準を入れていますが、自治体ごとに独自に設定・入力することができます。



ひな形を活用した現行のタイムラインのブラッシュアップ
マニュアル、チェックリスト、フロー図等からタイムラインの作成

行動項目 チェックリスト	災害時行動 マニュアル	行動フロー																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 33%; height: 30px;"></td><td style="width: 33%; height: 30px;"></td><td style="width: 33%; height: 30px;"></td></tr><tr><td style="height: 30px;"></td><td style="height: 30px;"></td><td style="height: 30px;"></td></tr><tr><td style="height: 30px;"></td><td style="height: 30px;"></td><td style="height: 30px;"></td></tr><tr><td style="height: 30px;"></td><td style="height: 30px;"></td><td style="height: 30px;"></td></tr><tr><td style="height: 30px;"></td><td style="height: 30px;"></td><td style="height: 30px;"></td></tr><tr><td style="height: 30px;"></td><td style="height: 30px;"></td><td style="height: 30px;"></td></tr><tr><td style="height: 30px;"></td><td style="height: 30px;"></td><td style="height: 30px;"></td></tr></table>																							

タイムラインひな形

[illegible]

3.4 ひな形の構成

2.5で想定災害シナリオの設定について説明しましたが、自治体ごとにそれぞれ被災実績やリスク情報から気象・水象条件を分析するのは現実的ではありません。そのため、各レベルに応じた気象・水象条件と、ゼロアワー（災害発生）から遡るリードタイムについて目安の時間を入力しています。

1 時間（目安）

詳細な時間を示すには、自治体ごとに既往災害から選定、もしくは災害実績や当該地域の気象条件等を分析した上で想定災害シナリオを作成する。

2 タイムラインレベル

内閣府の『避難情報に関するガイドライン』より、“住民主体の避難行動等を支援する防災情報の提供”で設定されている5段階の警戒レベルを参考に設定。

[illegible]

3 レベル移行の判断基準

レベルに対する避難情報の目安が設定されているので、該当する避難情報のトリガーとなる情報（例えば水位予測、降雨予測など）を監視し、その可能性が高まったところでレベル移行する。

※入力シート①で設定

4 気象・防災情報

- ①各情報と避難情報を自治体ごとに選択
②災害特性に応じて選択

5 避難情報等

避難情報等はタイムラインレベルと紐付け

レベル3：高齢者等避難
レベル4：避難指示
レベル5：緊急安全確保

6 行動項目の役割分担

シート②で設定した機関内の行動の役割分担が表示される。

7 行動項目

入力シート②で設定した防災行動項目が部局、レベルごとに表示される。

広域避難に関する情報

広域避難に関する情報については、必要に応じて避難情報の欄に記載してください。

「江東5区大規模水害ハザードマップ（発行：江東5区広域避難推進協議会、平成30年8月初版）」より設定。

- ・72時間前（3日前）：共同検討開始
- ・48時間前（2日前）：自主の広域避難情報を発表
- ・24時間前（1日前）：広域避難指示を発令
- ・9時間前：域内垂直避難（緊急）を発令

3.5 タイムラインレベル早見表

「タイムラインレベル早見表」とは、3.6 入力フォーマットの使い方の、洪水・土砂災害・高潮の災害種別ごとに表示したものです。

災害対応が必要なときに今、タイムラインのどの行動を取るべきかを一目で確認することができます。

■タイムラインレベル早見表

防災情報			大規模河川洪水 中小河川洪水	土砂災害	高潮災害
気象予報	大雨	大雨注意報		レベル2	
		大雨警報(浸水害)			
		大雨警報(土砂災害)		レベル3	
		大雨特別警報(浸水害)	レベル5		
		大雨特別警報(土砂災害)		レベル5	
	洪水	洪水注意報	レベル2		
		洪水警報	レベル3		
	高潮	高潮注意報			レベル2 注1
		高潮警報			レベル4
		高潮特別警報			(レベル4)注2
	指定河川洪水予報 (水位周知)	氾濫注意情報	レベル2		
		氾濫警戒情報	レベル3		
氾濫危険情報		レベル4			
氾濫発生情報		レベル5			
水位到達情報	氾濫注意水位到達	レベル2			
	避難判断水位到達	レベル3			
	氾濫危険水位到達	レベル4			
	氾濫開始相当水位到達	レベル5			
土砂災害警戒情報		土砂災害警戒情報		レベル4	
土砂災害 警戒判定メッシュ情報	注意		レベル2		
	警戒		レベル3		
	非常に危険		レベル4		
	極めて危険		(レベル5)		
洪水警報の危険度分布	注意	レベル2			
	警戒	レベル3			
	非常に危険	レベル4			
	極めて危険	(レベル5)			

注1: 高潮警報に切り替える可能性に言及する高潮注意報が発表された場合

なお、暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難指示(警戒レベル4)に相当する。

注2: 予想される現象が特に異常であるため、重大な高潮の発生するおそれが著しく大きい場合(警戒レベル4相当情報[高潮])

注3: 氾濫開始相当水位とはある河川の一連の区域で最も越水・溢水の可能性が高いと考えられる箇所において堤防天端高(又は背後地番高)など氾濫が開始する各箇所の水位を、その箇所を受け持つ水位観測所において換算した水位である。

3.6 入力フォーマットの使い方

タイムラインのひな形は、①大規模洪水タイムライン、②中小河川洪水タイムライン、③土砂災害タイムライン、④高潮タイムラインの4つのファイルから1つ選んではじめます。

入力シート① 【レベル移行判断】

判断基準となる基準水位や雨量を入力して表示することができます。

洪水予報観測所や水位周知観測所が複数ある場合には、代表観測所を入力してください。

● 中小河川洪水タイムライン

○ 入力シート① レベル移行判断

タイムライン	レベル	状況	状況					
			河川名	観測所名	基準値	単位		
中小河川洪水タイムライン	1	洪水予報（水位周知）河川の水位が、氾濫注意水位に到達した場合	芝川・新芝	川	青木水門	観測所	3.75	m
	2	洪水予報（水位周知）河川の水位が、避難判断水位に到達した場合	芝川・新芝	川	青木水門	観測所	3.88	m
	3	洪水予報（水位周知）河川の水位が、氾濫危険水位に到達した場合	芝川・新芝	川	青木水門	観測所	4.63	m
	4	洪水予報（水位周知）河川の水位が、氾濫発生水位に到達した場合		川		観測所		m

● 高潮タイムライン

○ 入力シート① レベル移行判断

タイムライン	レベル	状況	状況				
			河川名	観測所名	基準値	単位	
高潮タイムライン	1	・台風が当該地域に接近して通過するおそれがあり、予想される風の強さや降水量より甚大な被害の発生するおそれがある場合					2
	2	・高潮注意報の発表において警報に切り替える可能性が高い旨に言及された場合 ・台風情報で、台風の暴風域が市町村にかかると予想されている、又は台風が市町村に接近することが見込まれる場合 ・特別警報発表の可能性のある旨、府県気象情報や気象庁の記者会見等により周知された場合					2.4
	3						
	4	・海岸堤防等が倒壊した場合 ・水門、陸閘等の異常が確認された場合 ・異常な逆流・越流が発生した場合 ・潮位が「危険潮位※」を超え、浸水が発生したと推測される場合 ・高潮特別警報が発表された場合					

● 土砂災害タイムライン

○ 入力シート① レベル移行判断

タイムライン	レベル	状況	状況				
			河川名	観測所名	基準値	単位	
土砂災害タイムライン	1	・台風が当該地域に接近して通過するおそれがあり、予想される風の強さや降水量より甚大な被害の発生するおそれがある場合					
	2	・実況または予想で大雨警報の土壌雨量指数基準に到達する場合					50
	3	・土砂災害に関するメッシュ情報で「予想で土砂災害警戒情報の基準に到達」する場合 ・記録的短時間大雨情報が発表された場合					70
	4	・土砂災害に関するメッシュ情報で「実況で土砂災害警戒情報の基準に到達」した場合					

3.6 入力フォーマットの使い方

入力シート② 【行動項目】

まず始めに、**自治体内の部局別役割**から「あり・なし」を選択します。

「あり」を選択した場合は、下の部局名の所に関係部局名を入力します。部局名に入力したものが、実施主体に反映されプルダウンで選べるようになるので、防災対応項目の実施主体をそれぞれ選択します。次に、対応するタイムラインレベルをプルダウンから選択します。

「なし」を選択した場合は、下の部局名の「各課」以外と実施主体がグレイアウトし、実施主体にどの部局名が選択されていても**実施主体が全て各課**として扱われます。次に、対応するタイムラインレベルをプルダウンから選択します。

※大項目が「体制構築」になっているものは、作成したタイムライン上では、実施主体で選択した部局名に振り分けられずに「体制構築」の欄に表示されます。

※追加の防災対応項目がある場合は、表下段の空欄に30個まで追加記入することができます。

自治体内の部局別役割で「あり」を選択した場合

自治体内の部局別役割

あり
なし
(実施主体が全て「各課」)

部局名

1 各部
2 市長室
3 危機管理室
4 市民部
5 教育委員会事務局
6 福祉部
7 総務部
8 都市整備部
9 地区連絡員
10 庁議
11 土木部

① 区市町村内の災害対応関係部局名を1~20に入力

② 防災対応項目の担当部局名を①に入力した中から選択

7

6

防災対応項目を行うタイムラインレベルをプルダウンから選択

追加の防災対応項目入力箇所

防災対応項目（「何を」）		実施主体（「誰が」）	タイムラインレベル（「いつ」）				
大項目	詳細		-0h レベル1 内部調整	0h- レベル2 機関調整	レベル3 地域調整	レベル4 避難対応	レベル5 水害対応
情報収集・提供	気象情報の収集	各部	●	●	●	●	●
情報収集・提供	現状を市長へ報告	市長室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	庁内各課への注意喚起	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	各部災害対応報告調査の実施	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	台風に関する気象情報の伝達	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	市有施設へ安全対策を通知	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	市有施設・市立施設等の点検	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	休校・休園情報の伝達	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	災害予警報発表の周知	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	各部への対応指示	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	市体制の広報	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	要配慮利用施設等への情報伝達	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	外国人への情報提供	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	交通事業者、工業事業者への注意喚起	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	交通規制情報の収集	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	地下空間関係者への注意喚起	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	土砂災害警戒区域等住民への情報伝達	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	避難指示等の呼びかけ及び被害状況の周知	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	関係機関からの問い合わせ対応	危機管理室	●	●	●	●	●
体制構築	臨時庁議の召集	危機管理室	●	●	●	●	●
体制構築	臨時庁議の開催	危機管理室	●	●	●	●	●
体制構築	各部対応報告	危機管理室	●	●	●	●	●
体制構築	市事業中止の判断	危機管理室	●	●	●	●	●
体制構築	休校・休園等の判断	危機管理室	●	●	●	●	●
体制構築	TL運用体制の構築	危機管理室	●	●	●	●	●
体制構築	地区連絡員への連絡体制の確認等	危機管理室	●	●	●	●	●

自治体内の部局別役割で「なし」を選択した場合

自治体内の部局別役割

あり
なし
(実施主体が全て「各課」)

部局名

1 各部
2 市長室
3 危機管理室
4 市民部
5 教育委員会事務局
6 福祉部
7 総務部
8 都市整備部
9 地区連絡員
10 庁議
11 土木部

7

6

実施主体が全て「各部」として扱われる

防災対応項目を行うタイムラインレベルをプルダウンから選択

防災対応項目（「何を」）		実施主体（「誰が」）	タイムラインレベル（「いつ」）				
大項目	詳細		-0h レベル1 内部調整	0h- レベル2 機関調整	レベル3 地域調整	レベル4 避難対応	レベル5 水害対応
情報収集・提供	気象情報の収集	各部	●	●	●	●	●
情報収集・提供	現状を市長へ報告	市長室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	庁内各課への注意喚起	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	各部災害対応報告調査の実施	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	台風に関する気象情報の伝達	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	市有施設へ安全対策を通知	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	市有施設・市立施設等の点検	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	休校・休園情報の伝達	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	災害予警報発表の周知	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	各部への対応指示	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	市体制の広報	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	要配慮利用施設等への情報伝達	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	外国人への情報提供	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	交通事業者、工業事業者への注意喚起	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	交通規制情報の収集	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	地下空間関係者への注意喚起	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	土砂災害警戒区域等住民への情報伝達	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	避難指示等の呼びかけ及び被害状況の周知	危機管理室	●	●	●	●	●
情報収集・提供	関係機関からの問い合わせ対応	危機管理室	●	●	●	●	●
体制構築	臨時庁議の召集	危機管理室	●	●	●	●	●
体制構築	臨時庁議の開催	危機管理室	●	●	●	●	●
体制構築	各部対応報告	危機管理室	●	●	●	●	●
体制構築	市事業中止の判断	危機管理室	●	●	●	●	●
体制構築	休校・休園等の判断	危機管理室	●	●	●	●	●
体制構築	TL運用体制の構築	危機管理室	●	●	●	●	●
体制構築	地区連絡員への連絡体制の確認等	危機管理室	●	●	●	●	●

3.6 入力フォーマットの使い方（マルチハザードの作成）

各タイムラインの最後のシートには「タイムライン（マルチハザード）」がついています。災害種別ごとではなく全体のタイムラインを作成したい場合は、「中小洪水河川タイムライン」のひな型に以下の事項を転記してください。

入力シート① 【レベル移行判断】

各タイムラインシートは種別ごとに入力項目が表示されていますが、マルチハザードを作成する場合は、非表示部分をなくし、すべての種別にレベル移行判断基準を入力してください。

● 中小河川洪水タイムライン

○ 入力シート① レベル移行判断

タイムライン	レベル	3	判断基準の入力箇所	状況			
				河川名	観測所名	基準値	
中小河川洪水タイムライン	1	洪水予報（水位周知）河川の水位が、氾濫注意水位に到達した場合	芝川・新芝	川	青木水門	観測所	3.75 m
	2	洪水予報（水位周知）河川の水位が、避難判断水位に到達した場合	芝川・新芝	川	青木水門	観測所	3.88 m
	3	洪水予報（水位周知）河川の水位が、氾濫危険水位に到達した場合	芝川・新芝	川	青木水門	観測所	4.63 m
	4	洪水予報（水位周知）河川の水位が、氾濫発生水位に到達した場合		川		観測所	m

基準水位等入力箇所

入力シート② 【レベル移行判断】

災害種別に関わらず行動項目をすべて入力してください。

自治体内の部局別役割		防災対応項目（「何を」）		実施主体 （「誰が」）	タイムラインレベル（「いつ」）					
					-0h	0h-	レベル3	レベル4	レベル5	
					レベル1 内部調整	レベル2 機関調整	地域調整	避難対応	水害対応	
● あり		情報収集・提供	気象情報の収集	各部	●	●	●	●	●	
○ なし		情報収集・提供	現状を市長へ報告	市長室	●	●	●	●	●	
（実施主体が全て「各課」）		情報収集・提供	庁内各課への注意喚起	危機管理室	●	●				
部局名		情報収集・提供	各部災害対応報告調査の実施	危機管理室	●	●	●	●		
		情報収集・提供	台風に関する気象情報の伝達	危機管理室	●	●	●	●		
		情報収集・提供	市有施設へ安全対策を通知	危機管理室						
		情報収集・提供	防災関係機関との連携	危機管理室			●	●	●	●
		情報収集・提供	川の防災情報等からの情報収集	土木部	●	●	●	●	●	
		情報収集・提供	市内の被害状況収集	土木部		●	●	●	●	●
		情報収集・提供	避難所の受け入れ状況に関する報告	福祉部		●	●	●	●	●
		情報収集・提供	市民・事業者への注意喚起	市民部	●	●				
		情報収集・提供	自主避難の呼びかけ	危機管理室		●				
		情報収集・提供	市事業中止の周知	各部		●				
		情報収集・提供	休校、休園情報の伝達	教育委員会事務局		●				
		情報収集・提供	災害予警報発表の周知	危機管理室		●	●	●	●	●
		情報収集・提供	各部への対応指示	危機管理室			●	●	●	●
		情報収集・提供	市体制の広報	総務部			●			
		情報収集・提供	要配慮利用施設等への情報伝達	福祉部			●	●	●	
		情報収集・提供	外国人への情報提供	福祉部	●	●	●	●	●	●
		情報収集・提供	交通事業者、工事業者への注意喚起	土木部		●				
		情報収集・提供	交通規制情報の収集	土木部			●	●	●	●
		情報収集・提供	地下空間関係者への注意喚起	都市整備部		●				
		情報収集・提供	土砂災害警戒区域住民への情報伝達	市民部			●	●	●	
情報収集・提供	避難指示等の呼びかけ及び被害状況の周知	危機管理室			●	●	●	●		
情報収集・提供	関係機関からの問い合わせ対応	危機管理室	●	●	●	●	●	●		
体制構築	臨時庁議の召集	総務部	●							
体制構築	臨時庁議の開催	総務部		●						
体制構築	各部対応報告	総務部		●						
体制構築	市事業中止の判断	総務部		●						
体制構築	休校、休園等の判断	教育委員会事務局		●						
体制構築	IT運用体制の構築	危機管理室	●							

東京都総務局総合防災部防災計画課
電話：03-5388-2486